



6年生に贈る会

6年生と在校生が卒業式前に、楽しみながらも別れを惜しむ「6年生に贈る会」を先週2月26日（金）午後で開催しました。例年ですと全校の保護者や地域の方もお誘いする恒例行事ですが、来賓は感染症対策のため6学年のご家族1名のみとさせていただきます。

他の市内小学校では「6年生を送る会」とのネーミングで行われることが多い卒業を前にした楽しい集会ですが、附属小では「6年生に贈る会」とのネーミングです。小規模な学校で全校児童のつながりが非常に濃くて、在校生から卒業生への感謝の気持ちを込める意味合いが強いです。この行事は附属小の来年度を占う貴重な試金石でもあります。会のはじめに試金石を全校児童に伝えました。

6年生、試金石クリア

？卒業式がクリスマスだとしたら、贈る会はイブで、卒業式までに「贈る会」での気付きも含めた在校生への声を届けられるか。

A 在校生の出し物への反応が肯定的・協力的で、心から驚いたり笑ったり、演技が止まってしまうところでも微動だにせず待ったりできた。自分たちのしっかり筋立てした劇を個性豊かに演じ、アドリブ的なものにも即時対応していた。さすが6年生で、在校生にたくさんのお手本を示していた。最後のお礼の言葉に心からの在校生への感謝が込められていて、卒業式までに良い伝統を積み重ねていける確信ができた。

在校生も試金石クリア

？頼れる6年生がいなくなっても大丈夫か。

A 最前列の6年生の態度もお手本にしたのか、終始落ち着いて鑑賞し、スライドの機械が不調で比較的長い中断時間もしっかりした態度で待てた。企画段階も含めて在校生出し物には6年生に楽しんでもらおうという「心」があった。6年担任が途中で涙ぐんだほどであった。また、来年度新執行部の船出とも言える本会の企画が良くて全校にも良く伝わっていた。進行も落ち着いていて、低学年にもついてこられるように配慮がなされていた。特に5年生が終了後の片付けでも意欲的で、片付け振り分け指示だけでも素晴らしいのに、指示内容と対応する作業が的確だったことも来年度を大きく占うものであった。5年生の成長の点でも試金石クリアとしたい。

低学年卒業式参加せず

例年全校児童が参加してきた卒業式ですが、卒業生保護者各2名と中央ステージのスペース確保のため、参加在校生を4・5年生に絞らせていただきます。従って、1~3年生は休業日となります。ご理解とご協力をお願いいたします。

教育課程特例校延長

文部科学省より教育課程特例校（英語特区）の令和8年度までの認定延長決定の知らせが入りました。これまでとの違いは、来年度より低学年の週あたり生活科3時間を2時間として、1時間の英語科を実施するところですが、従いまして、低学年の週あたりの授業時数が他の小学校と同一になります。お含み置きください。

スクールガードのみなさん、ありがとうございます

この1年間、スクールガードのみなさんには貴重な時間を割いて子どもたちの安全を守っていただきました。おかげさまで、事故もなく無事に令和2年度が終わりそうです。3月に入り、スクールガードへの新応募もありました。「谷村よりから徒歩で児童の安全を見守ります」とのありがたい新応募です。新しい方にも、お世話になっている方々にも感謝で胸一杯です。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

平成2年度「贈る会」のメモリー



<心のこもった掲示物>



<贈る会実行委員>



<出し物での6年生全員>



<6年生入場>



2週間後の今日、6年生の小学校が終わります。
悔いがないように残りの日々を…